8.20豪雨災害の記憶

忘れまい8.20

©5k Team

掲載項目

50 slides

- 安佐南区内の支援体制と活動の概要
- 被災の概要、気象情報・避難情報、救助捜索
- 気象の特徴、地形・土壌の特徴
- 災害ボランティアセンターの体制
- ボランティア活動の概要、支援成果
- 復興連携センター/復興まちづくりビジョン

引用資料：気象庁、国土交通省、広島県、広島市、広島市社協、安佐南区復興連携センター、安佐南区ボランティア連絡会

©５ KTeam

8.20

安佐南区内の支援体制と活動の概要

平成26年8月20(水)～ 安佐南区社会福祉協議会

- □ 社協利用者の安否、福祉施設および利用者の被災有無の確認
- □ 社協役職員、ボランティア関係者の被災確認、当面の対応協議
- □ 現地踏査と市社協への情報伝達、連携
- □ 避難者・避難所調査と物資搬送支援(地元ボランティア)
- □ ボランティアによる支援要請把握(ニーズ把握/ニーズ受付)
- □ 災害ボランティアセンター開設協議・準備
  ⇒8月22日(金)八木(産直市跡)を本部に開所

平成26年8月22(金)～ 安佐南区災害ボランティアセンター

- ● 8月23日(土) 八木(サテライト)センターへボランティア受付開始
- ● 24日(日) 荒天により活動中止
- ● 25日(月) ボランティア受付を区総合福祉センターに変更
- ● 30日(土) ボランティア受付約2500名(一日最大)
- ● 31日(日) 巡回とチラシポスティング
- ● 9月 1日(月) 本部機能を総合福祉センターに集約
- ● 30日(火) 八木サテライトセンター、興動館センターを本部集約

平成26年10月1(水)～ 安佐南区復興連携センター

- ◆ 10月 1日(水) 災害ボランティアセンターを復興連携センターへ名称変更
- ◆ 10月末 活動ボランティア100名を下回る
- ◆ 11月～ ボランティアによる支援活動から土日集中支援方式へ変更
- ◆ 11月12日(水) 緑井サテライトセンターを本部集約
- ◆ 平成28年3月 ボランティア活動写真展/ありがとうミーティング
- ◆ 平成29年3月 8.20災害シンポ-心の健康講演会(区役所・区社協共催)
- ◆ 平成29年3月31日 復興連携センター閉所、社協活動として被災支援へ

ボランティア連絡会の活動

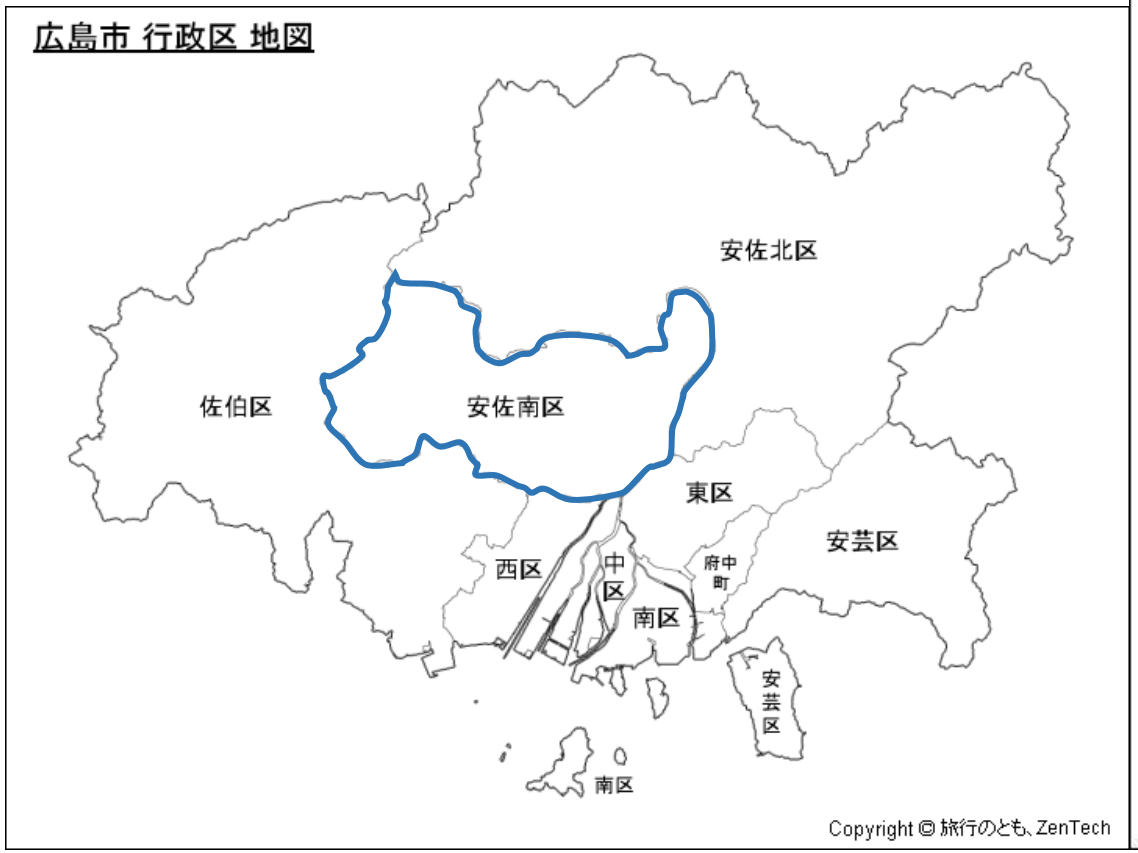
- □居住地の被災把握と情報提供依頼、概況調査
- □避難所へ女性用品、入浴用品提供
- □連絡会所属看護師グループが避難所で健康相談
- □子ども見守り活動、子どもの遊び場設置
- □物資等輸送ドライバー
- □避難所へうちわ提供
- □支援物資仕訳、ストック作業
- □避難所へ手話通訳・要約筆記派遣

- ●センター業務立ち上げ支援、事務支援
- ●現場踏査、現地案内、現場リーダー
- ●ボランティア・物資等輸送および輸送車両提供
- ●事務所間、現場間の連絡
- ●入浴・健康相談、cafeほか避難者継続支援
- ●夏休み明け放課後教室、登下校見守り
- ●子ども会、子育てサークルの再開・代替サポート

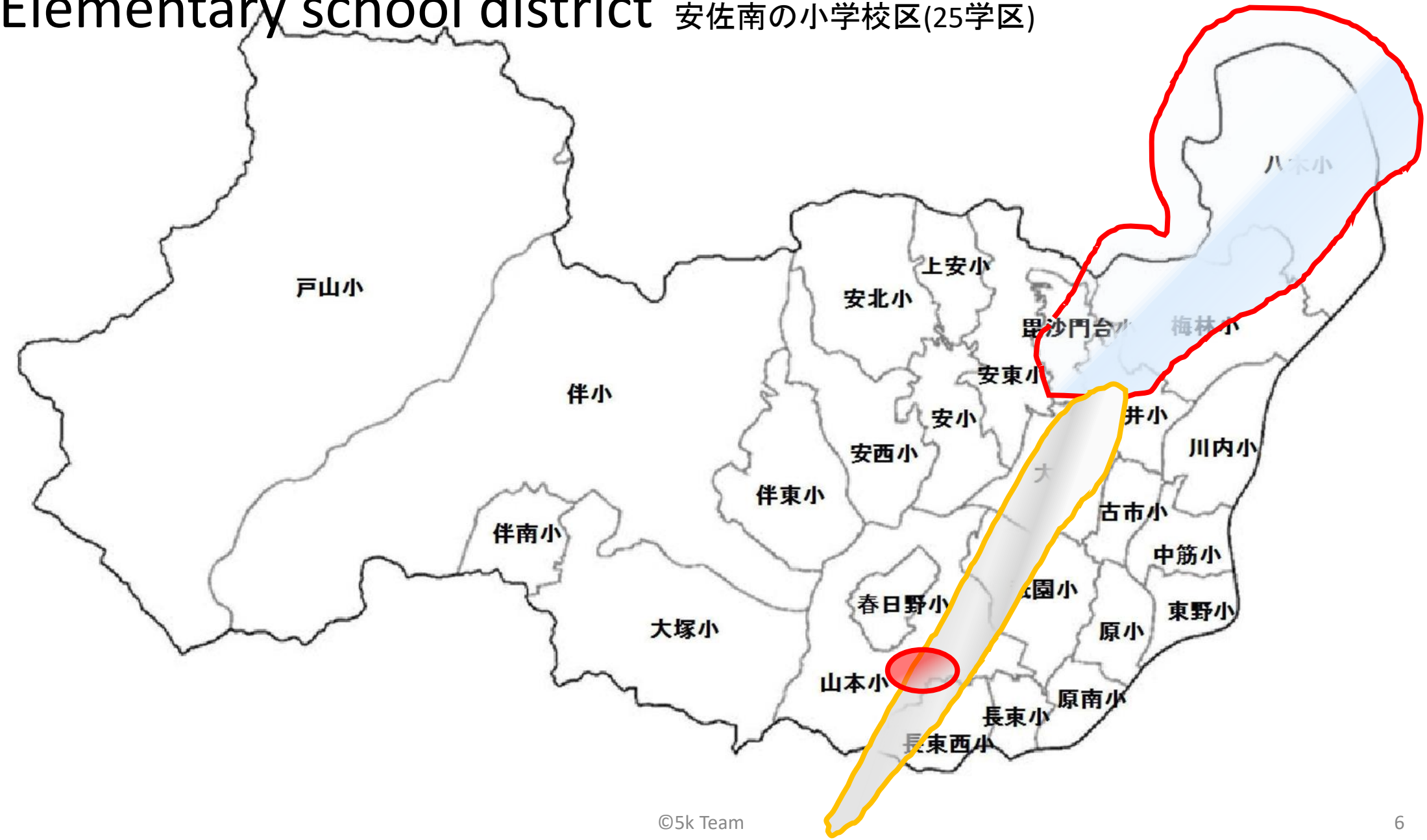
- ◆平成26年10月～ 復興連携センター移行に伴い、センター業務を全面支援するため「あさみなみ元気づけ隊」を編成
- ◆平成27年2月20日(発災半年) 地域とボラをつなぐプロジェクト
- ◆ 〃 ボランティアスタッフ有志の活動手記集発刊
- ◆平成27年4月～ 元気づけ隊から個別グループによる支援へ移行
- ◆平成28年8月20日(発災2年) 「5Kチーム」創設
  ⇒センター業務支援 ⇒社協業務移行後の支援へ

©5k Team

Location in Asaminami-ku 安佐南区位置



Elementary school district 安佐南の小学校区(25学区)



被災の概要

(1) 人的被害 (平成27年12月末現在)

単位：人

被害区分		安佐南区	安佐北区	合計
死　者		70	6	76
負傷者	重　傷	37	9	46
	軽　傷	16	6	22
	小　計	53	15	68
合　　計		123	21	144

関連死を3名を含め犠牲者は77人　(平成28年6月22日現在)

(2) 物的被害 (平成27年12月末現在)

単位：件

被害区分		安佐南区	安佐北区	その他	合計
住家	全　壊	145	33	1	179
	半　壊	122	95	0	217
	一　部	106	73	10	189
	床上浸水	796	286	2	1,084
	床下浸水	2,278	784	18	3,080
山がけ崩れ		119	246	15	380

©5k Team

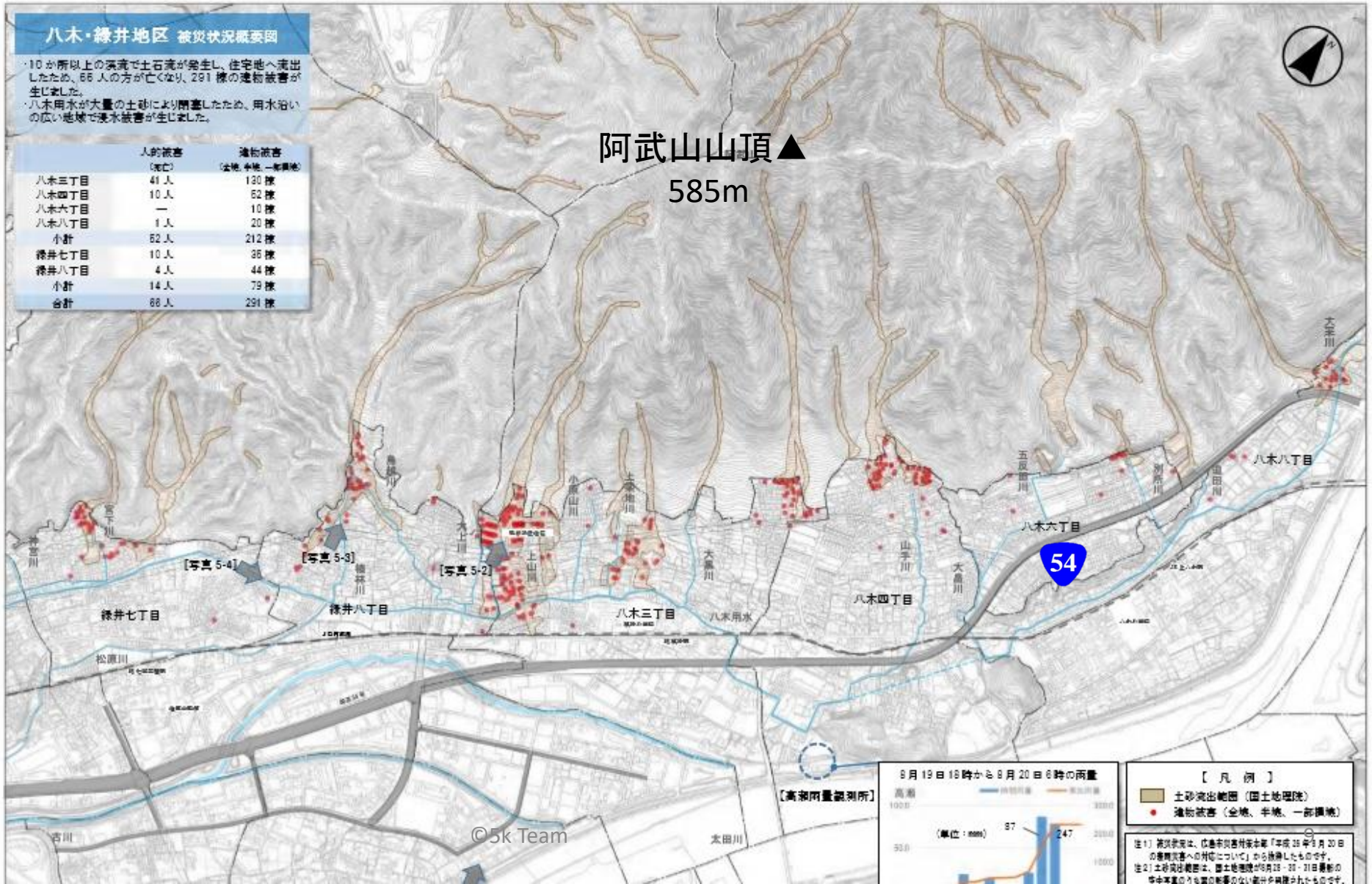
報道写真

安佐南区
八木・梅林・緑井学区

山本8丁目
死者2人

被害位置図 (八木～緑井地区)

□ 土砂流出範囲　● 建物被害



↑
↑
被害集中範囲
↓
↓

JR可部線→

国道54号→

©5k Team

犠牲者位置図
(八木～緑井地区)

●犠牲者は「倒壊」世帯に集中

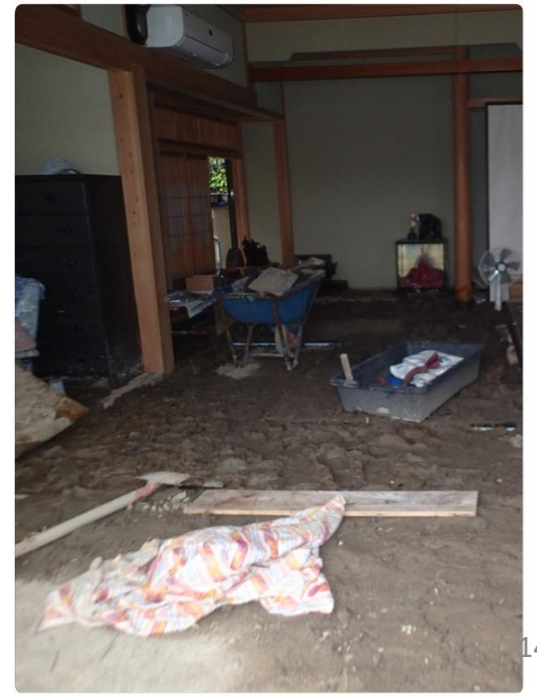
●倒壊世帯は土石流到達範囲の最上流部に集中

©5k Team

発災時の状況（現調等から）

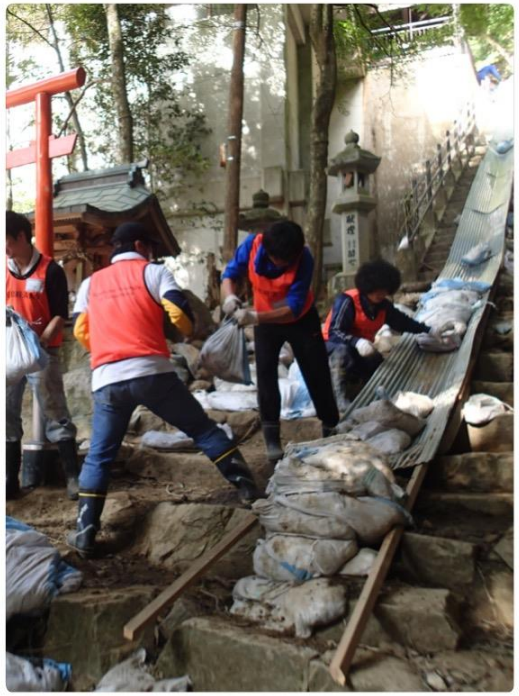
©5k Team

©5k Team



©5k Team

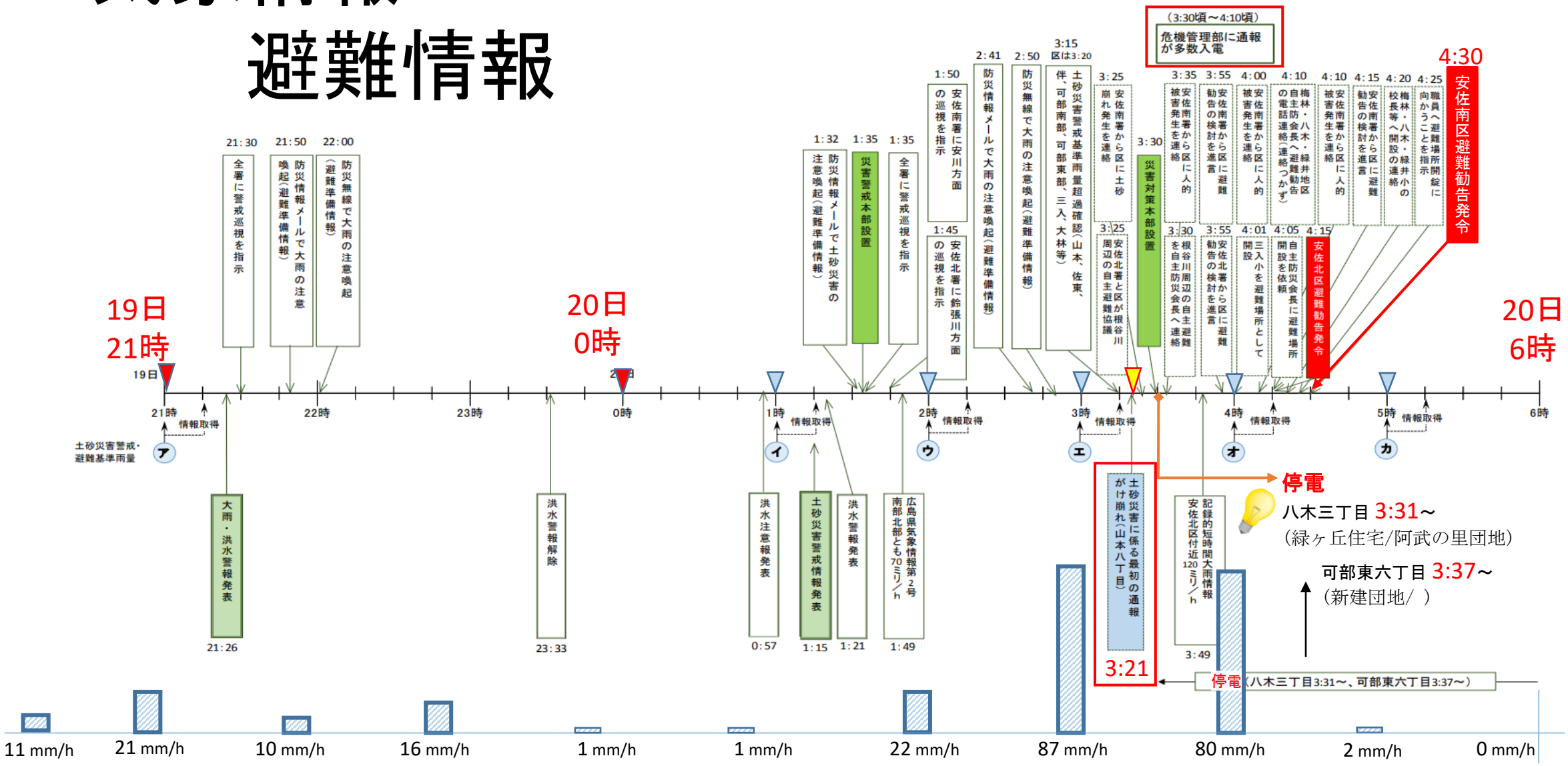
散水車



早稲田大学
ボランティアセンター

気象情報
避難情報

避難勧告の発令時期について



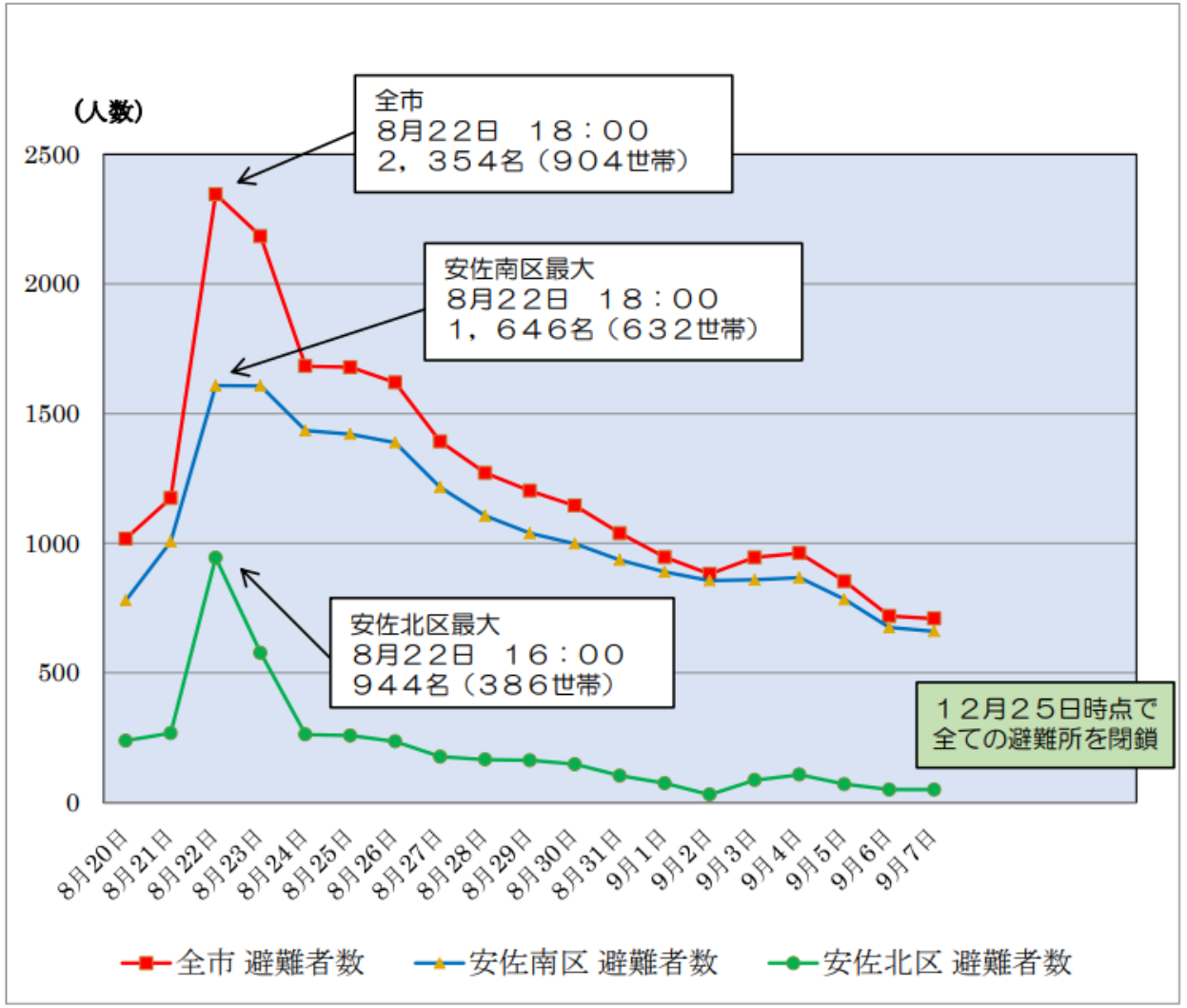
©5k Team

避難場所の実際

(梅林小学校のケース)

©5k Team

避難者の推移



©5k Team

避難所支援

救助捜索

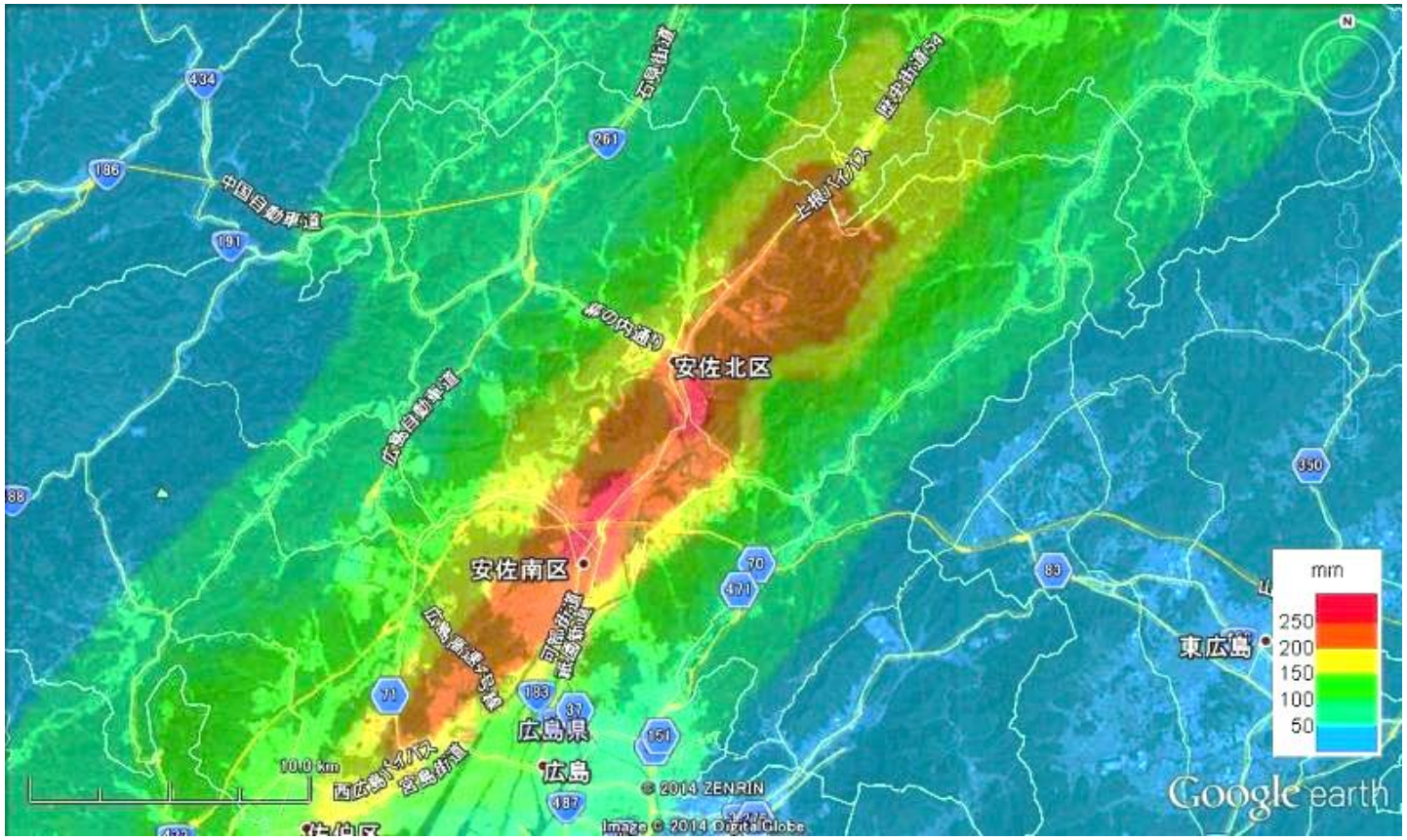
団体	期間	延人数等
陸上自衛隊	8月20日(水)～9月11日(木)	14,990人
県内広域消防相互応援	8月20日(水)～9月　5日(金)	1,471人 車両309台
緊急消防援助活動	8月20日(水)～9月　5日(金)	2,634人 車両622台 ヘリコプター68機
消防団(県内・市内)	8月20日(水)～9月30日(火)	4,758人
災害救助犬に係る ボランティア団体	8月20日(水)～26日(木)	30団体、135人、 108頭

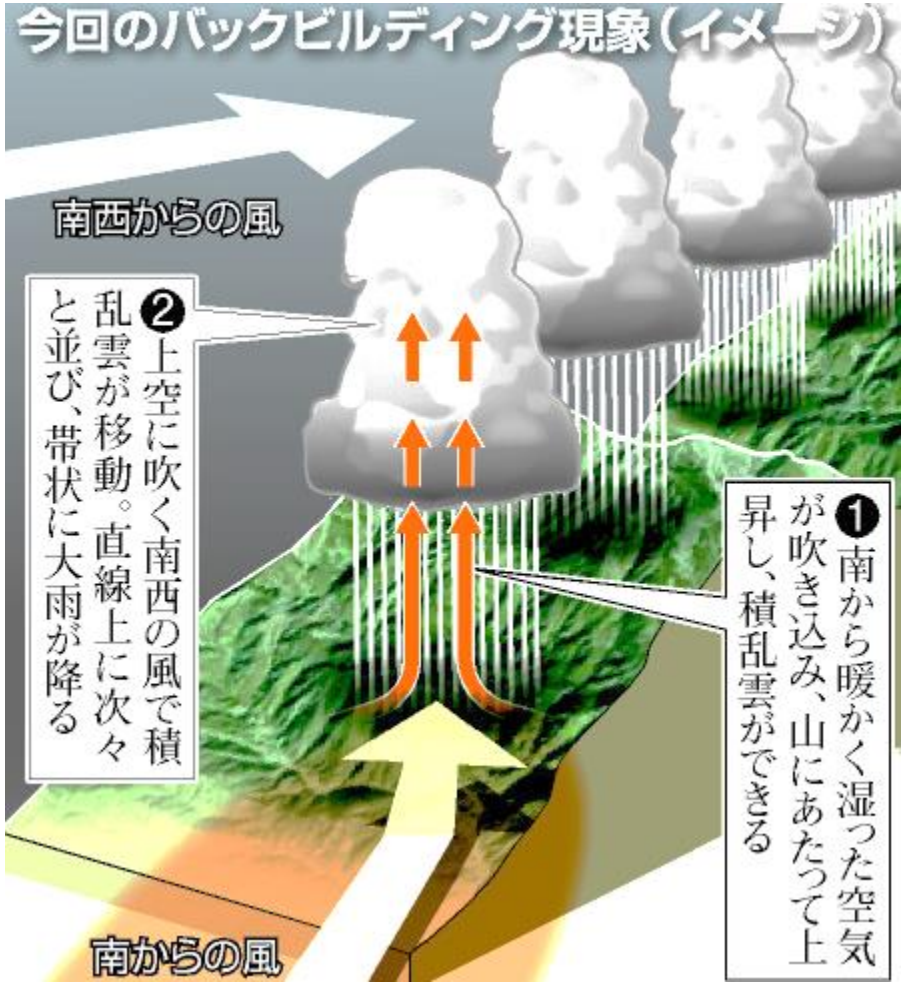
県警察は19都府県警察の派遣を受け、救出救助、捜索、検視・身元確認、交通規制、警備・防犯パトロールなどに最大1700人/日が活動

©5k Team

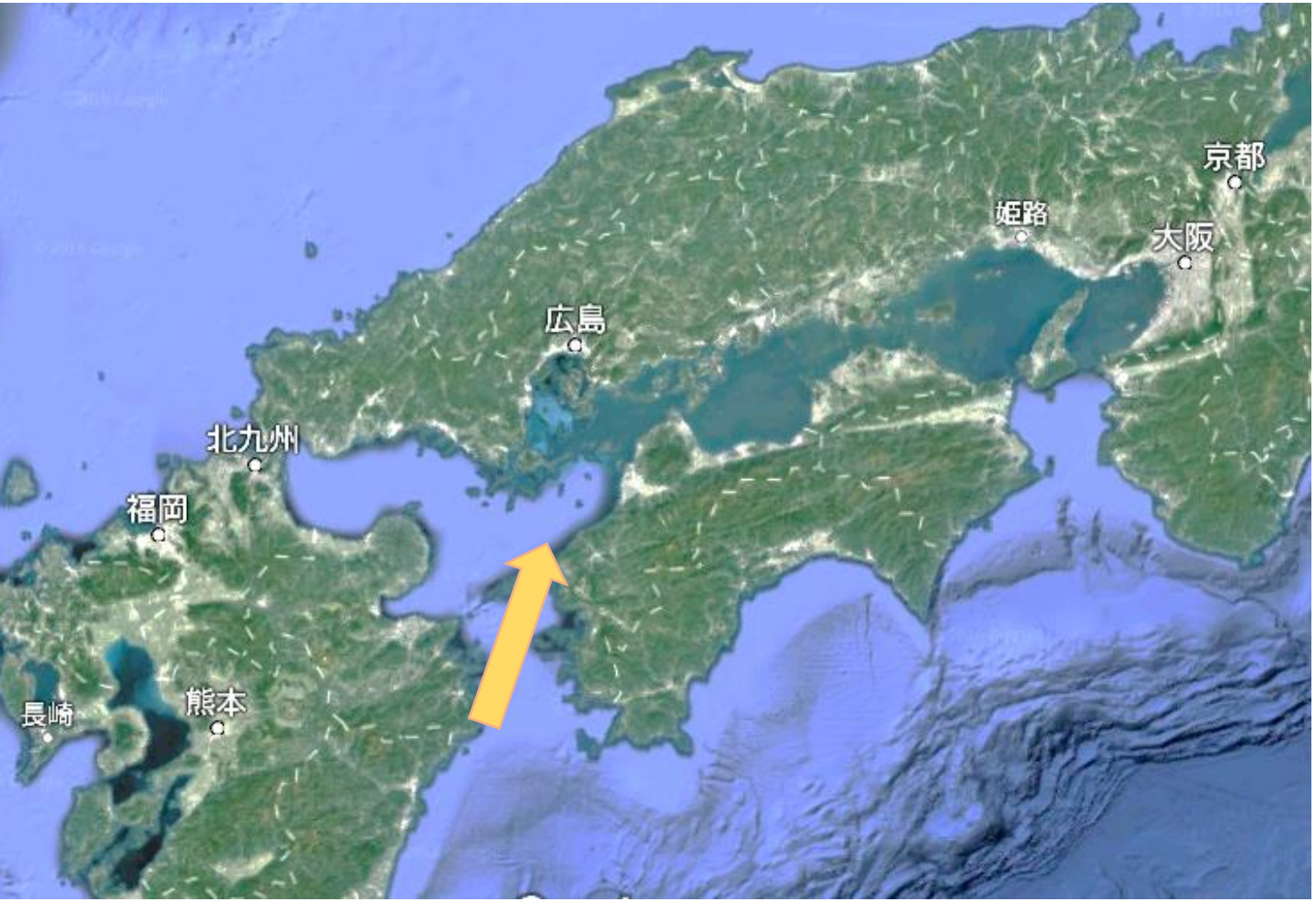
気象の特徴

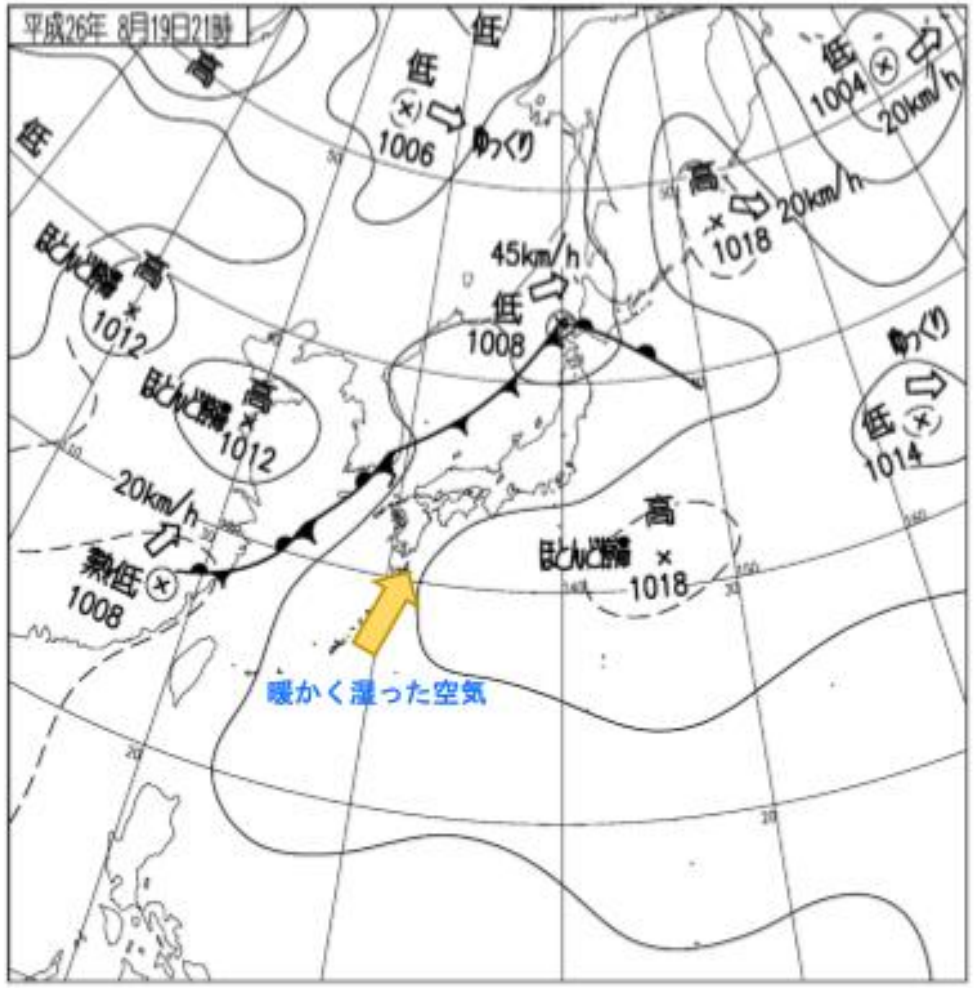
降雨図


安佐北区
安佐南区
広島県
広島
東広島
mm
250
200
150
100
50
© 2014 ZENRIN
Image © 2014 DigitalGlobe
Google earth


今回のバックビルディング現象（イメージ）
南西からの風
❷上空に吹く南西の風で積乱雲が移動。直線上に次々と並び、帯状に大雨が降る
❶南から暖かく湿った空気が吹き込み、山にあたって上昇し、積乱雲ができる
南からの風

天気図

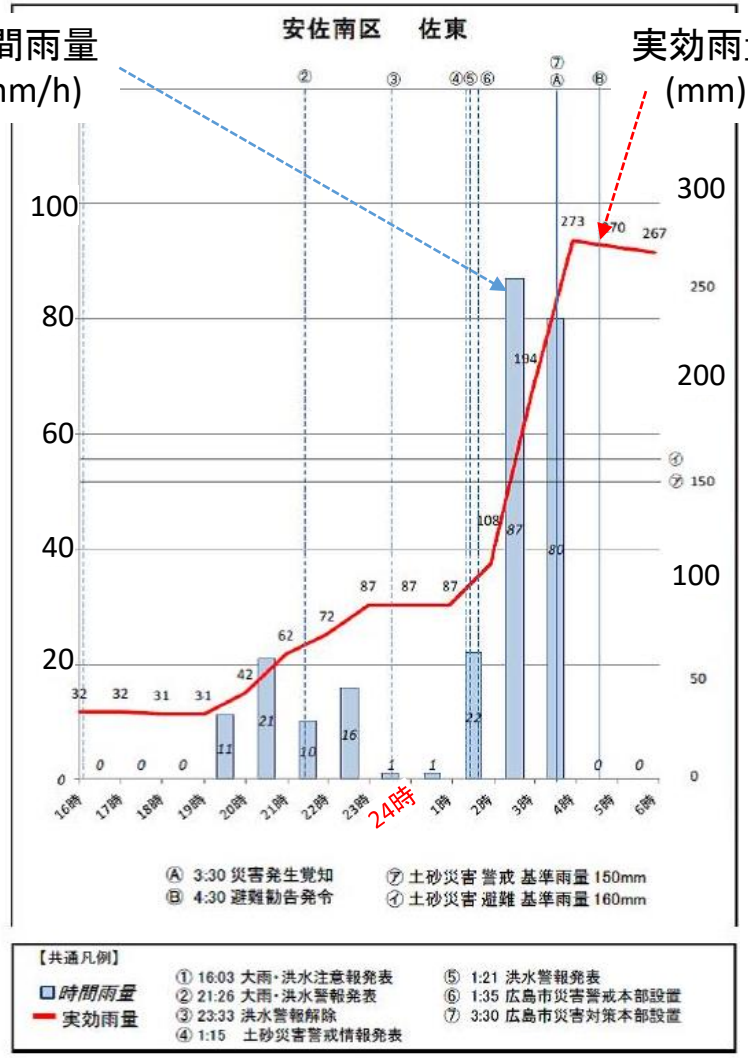




※　平成 26 年 8 月 19 日 21 時　気象庁発表

©5k Team

雨量

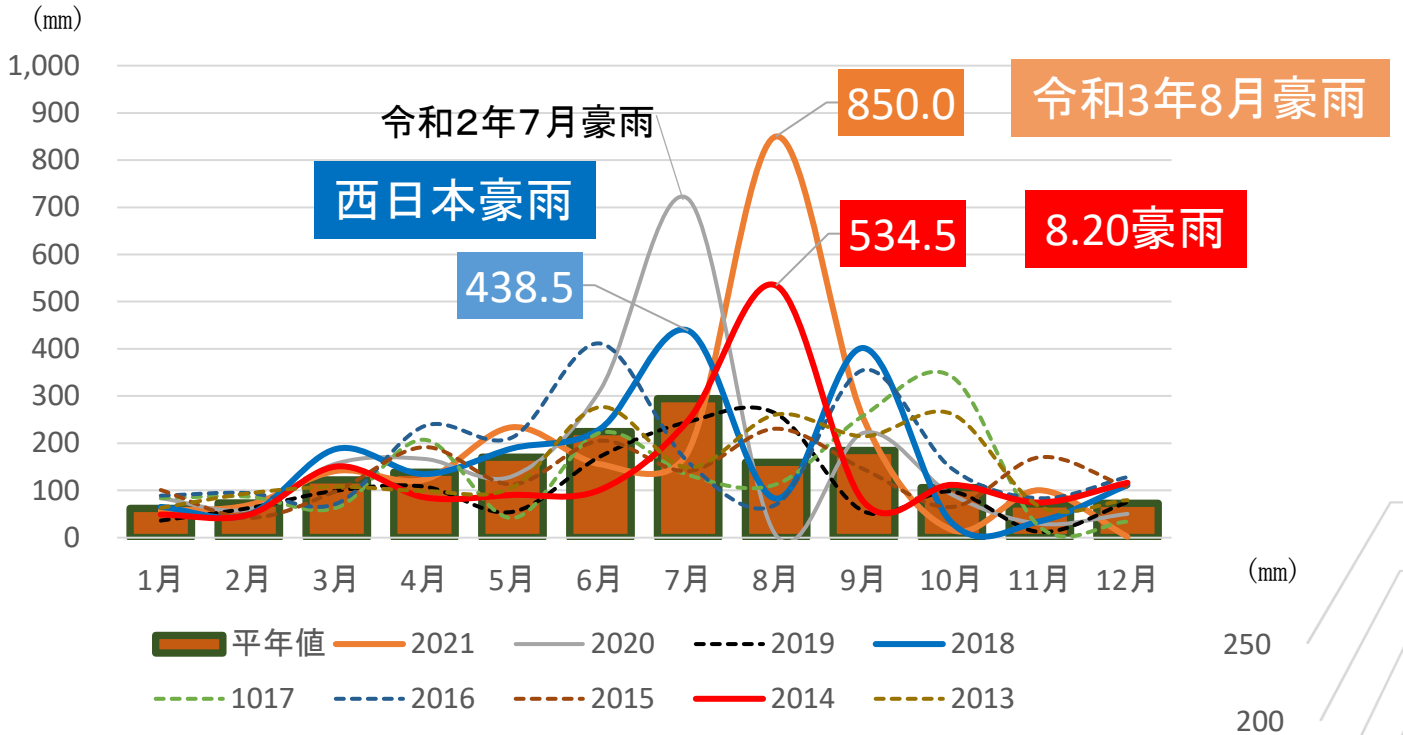


平成 26 年 8 月 20 日の豪雨災害

避難対策等に係る検証結果

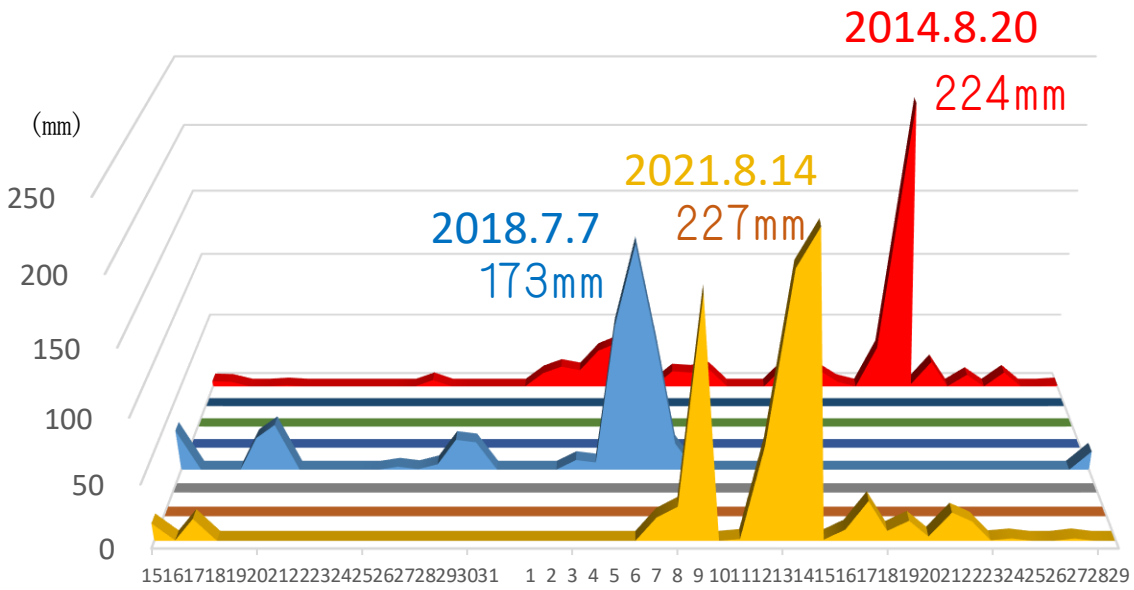
©5k Team

広島の年別月別降水量



(追記)
西日本豪雨
令和3年8月豪雨

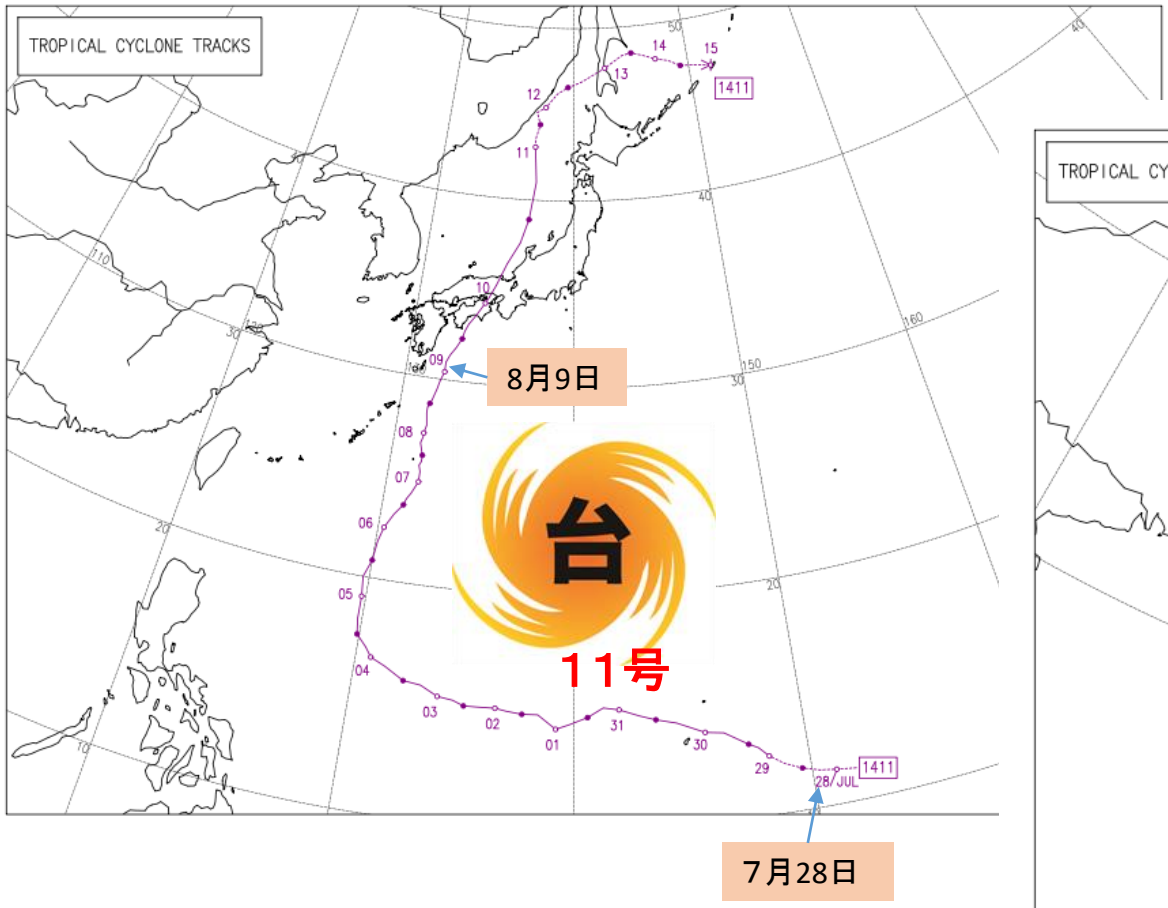
災害発生近くの日別降水量

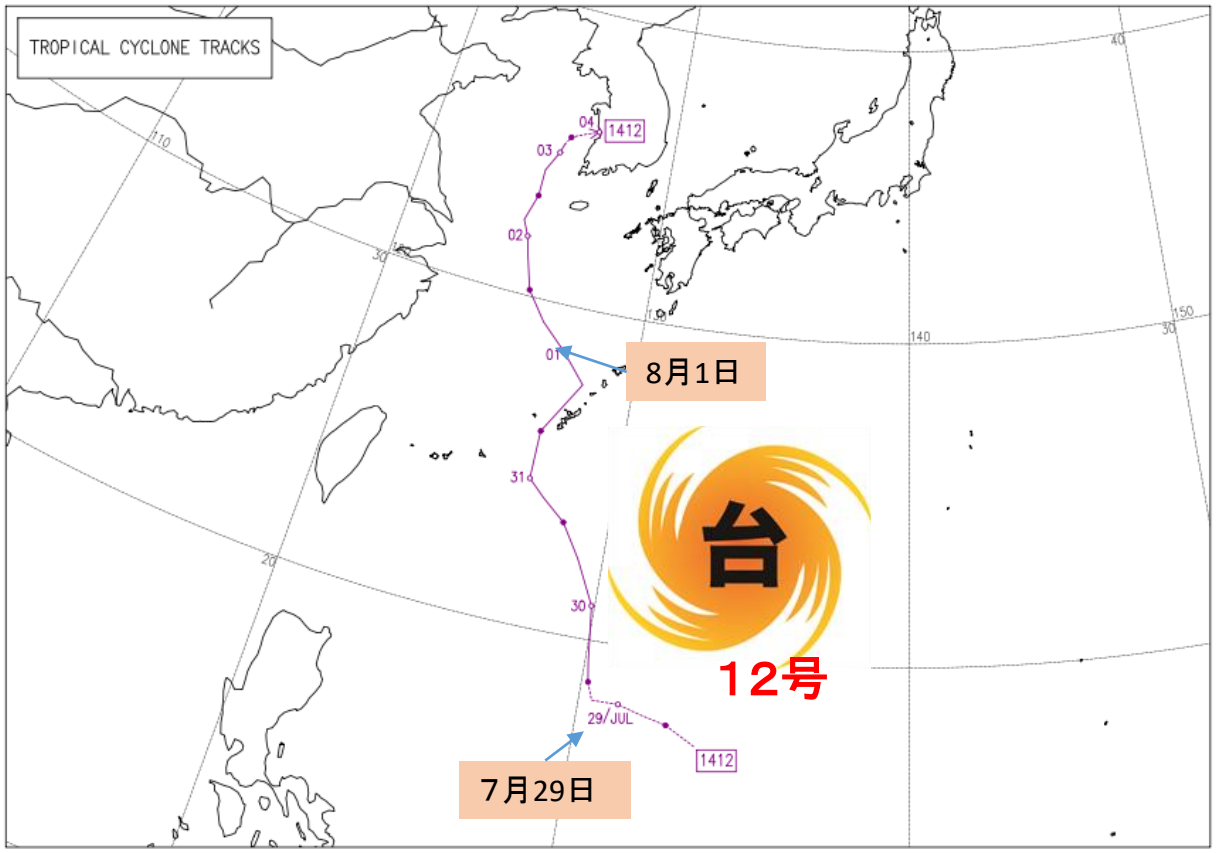


出所
気象庁:過去の気象データ
広島市安佐北区三入計測点

©5k Team

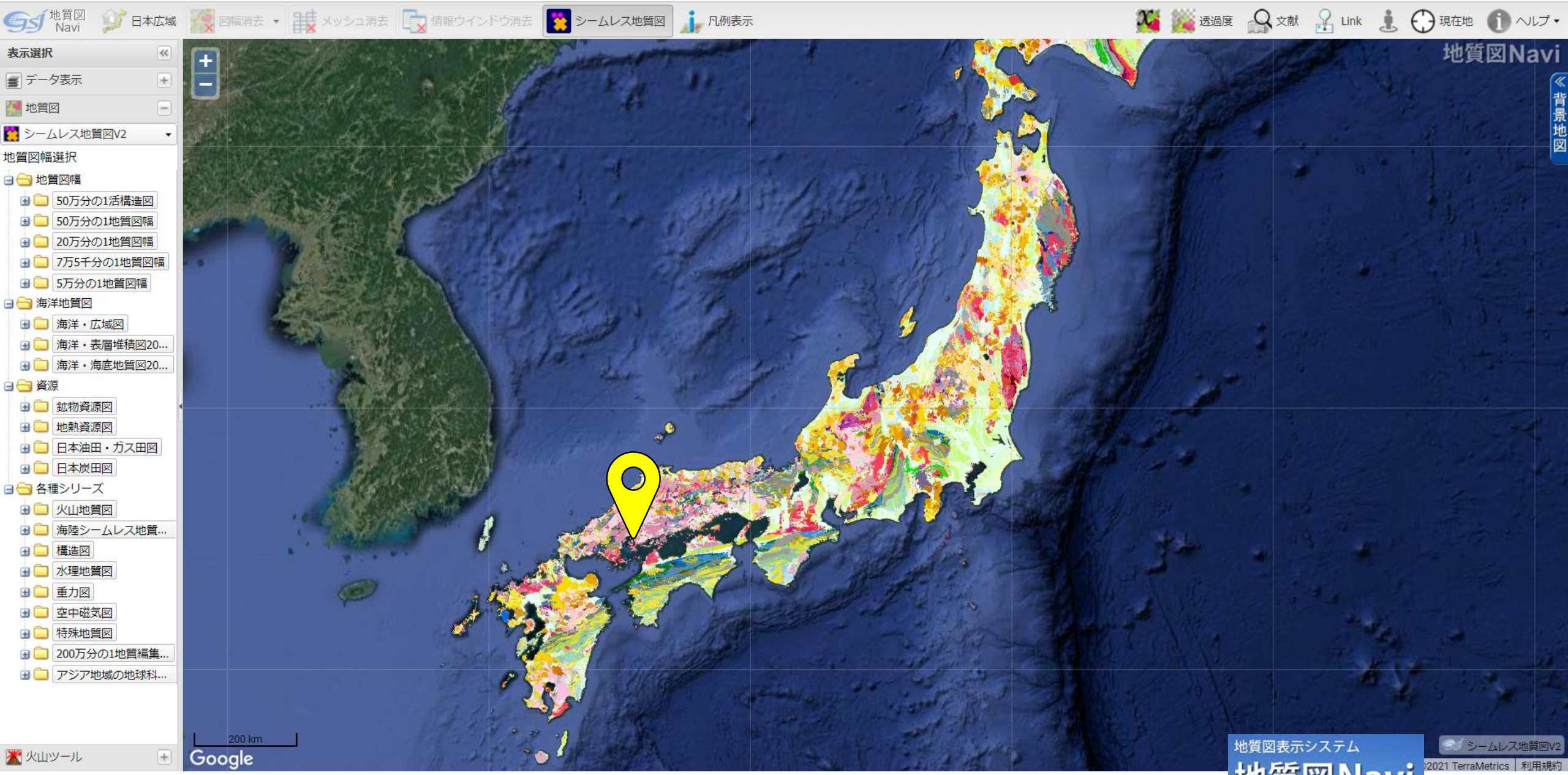
土砂災害の前兆

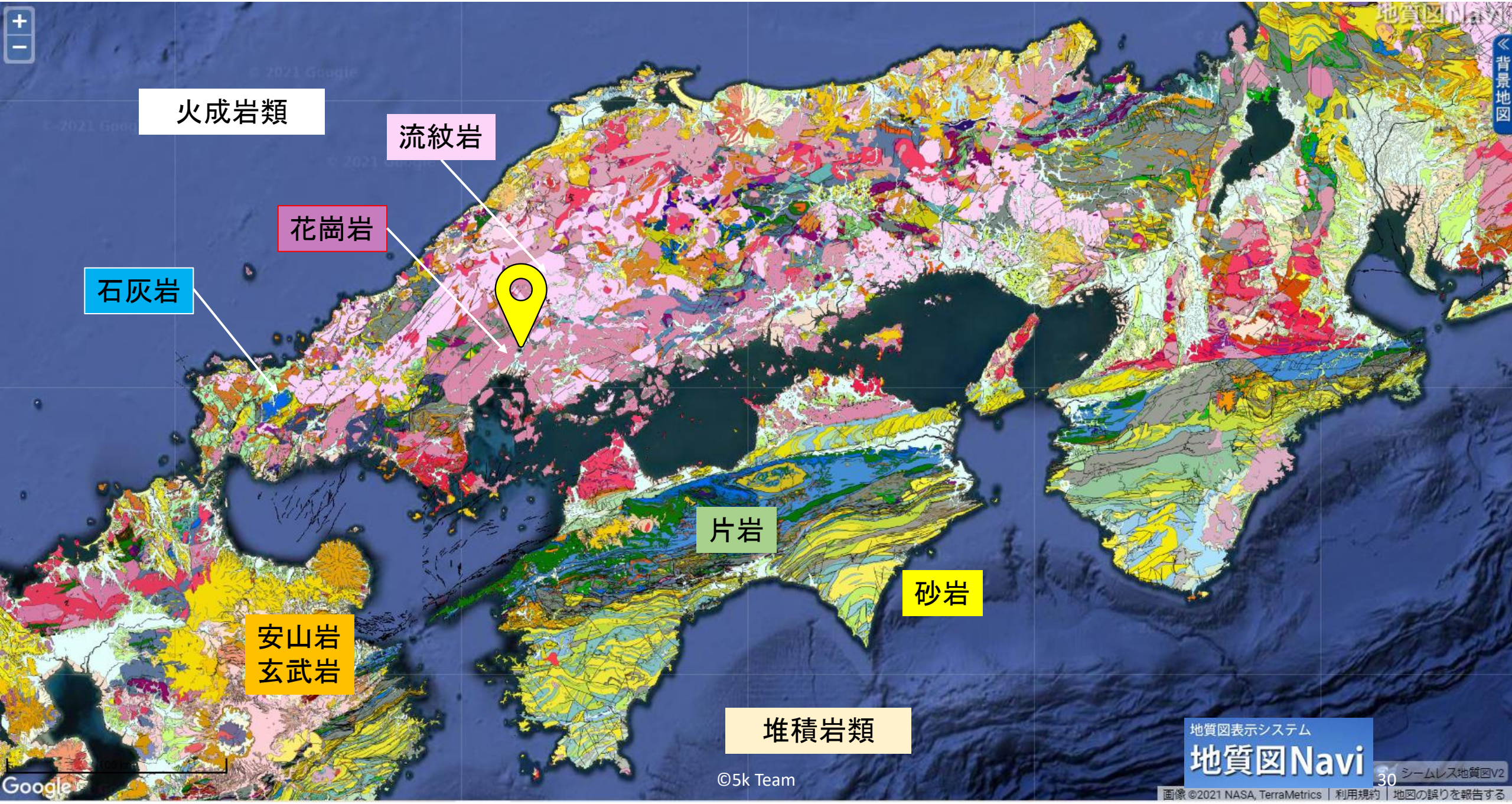




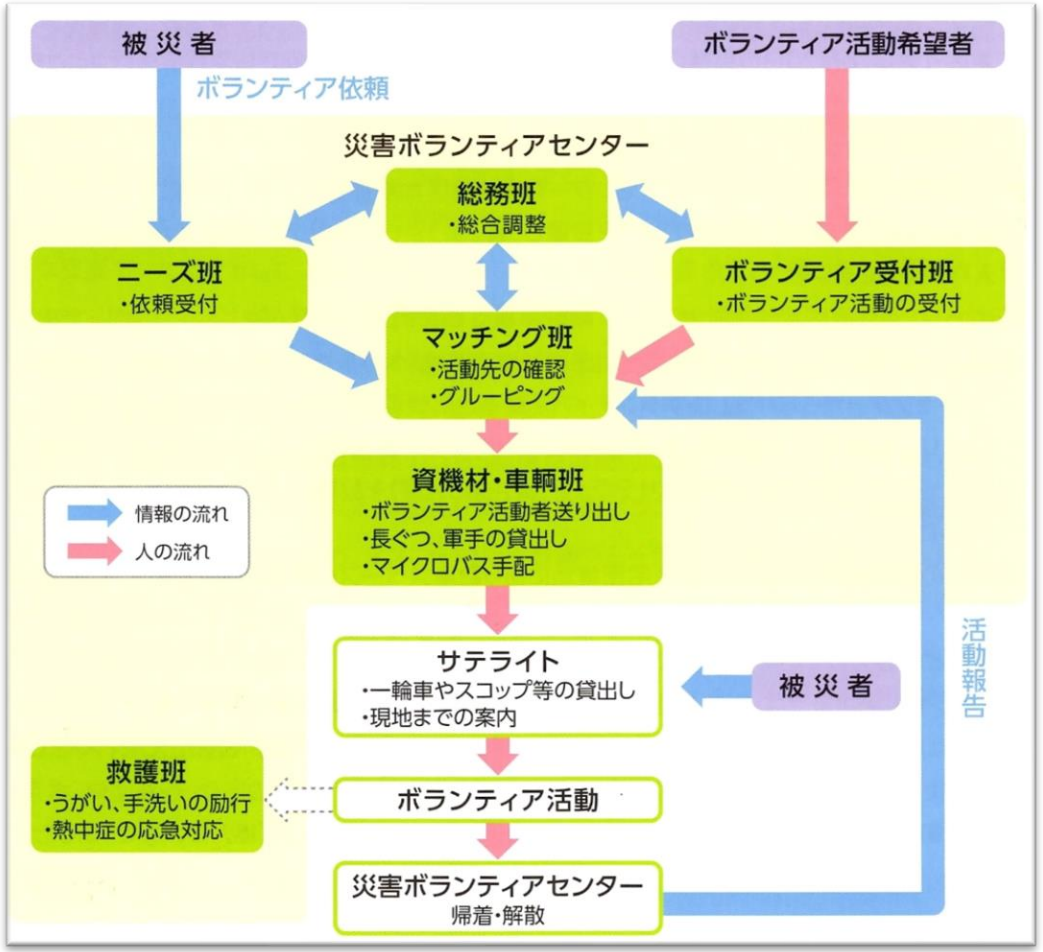
©5k Team

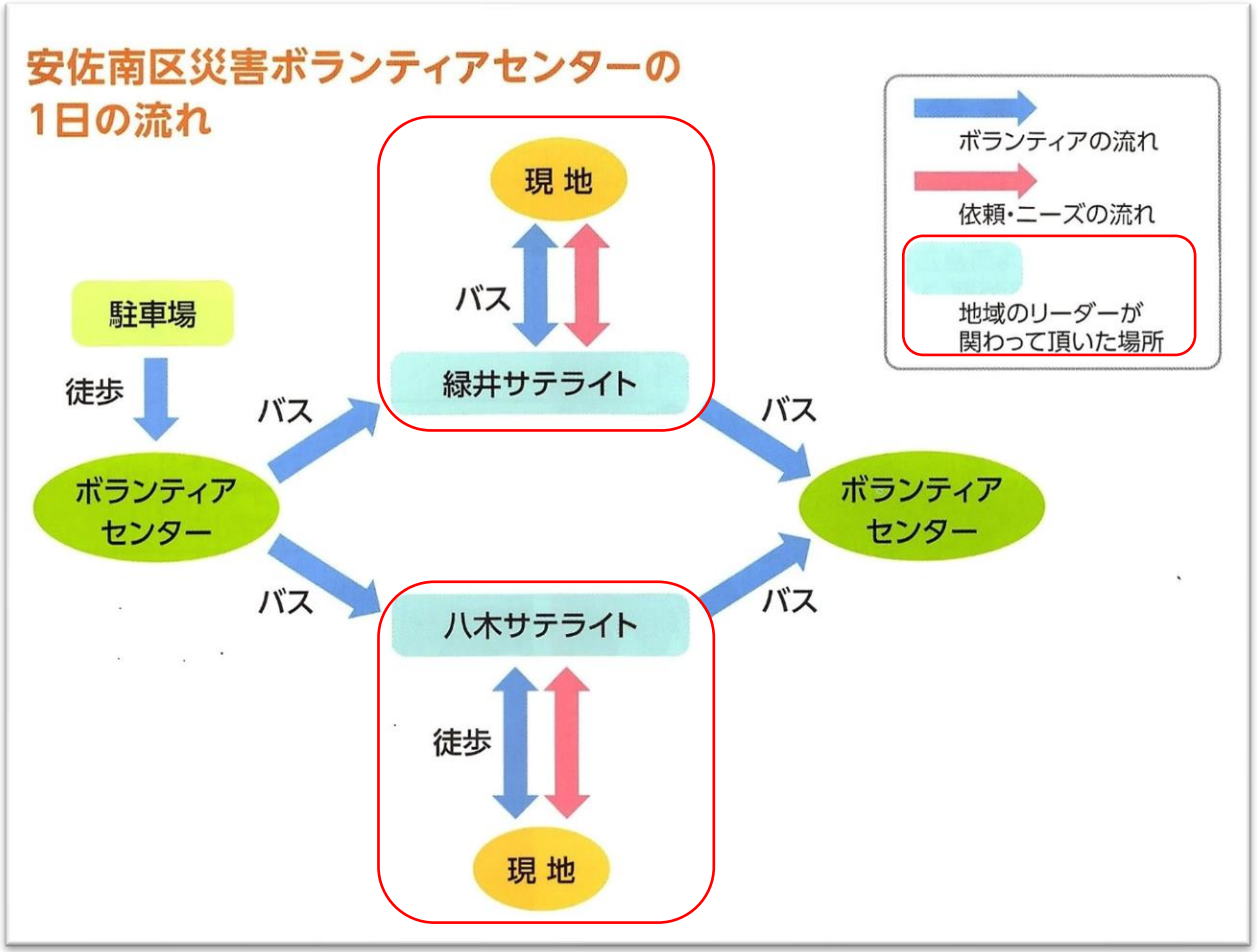
地形・土壌の特徴


地質図Navi
日本広域
図幅消去
メッシュ消去
情報ウインドウ消去
シームレス地質図
凡例表示
透過度
文献
Link
現在地
ヘルプ
表示選択
データ表示
地質図
シームレス地質図V2
地質図幅選択
地質図幅
50万分の1活構造図
50万分の1地質図幅
20万分の1地質図幅
7万5千分の1地質図幅
5万分の1地質図幅
海洋地質図
海洋・広域図
海洋・表層堆積図20...
海洋・海底地質図20...
資源
鉱物資源図
地熱資源図
日本油田・ガス田図
日本炭田図
各種シリーズ
火山地質図
海陸シームレス地質...
構造図
水理地質図
重力図
空中磁気図
特殊地質図
200万分の1地質編集...
アジア地域の地球科...
火山ツール
背景地図
200 km
Google
地質図表示システム
地質図Navi
シームレス地質図V2
©2021 TerraMetrics
利用規約

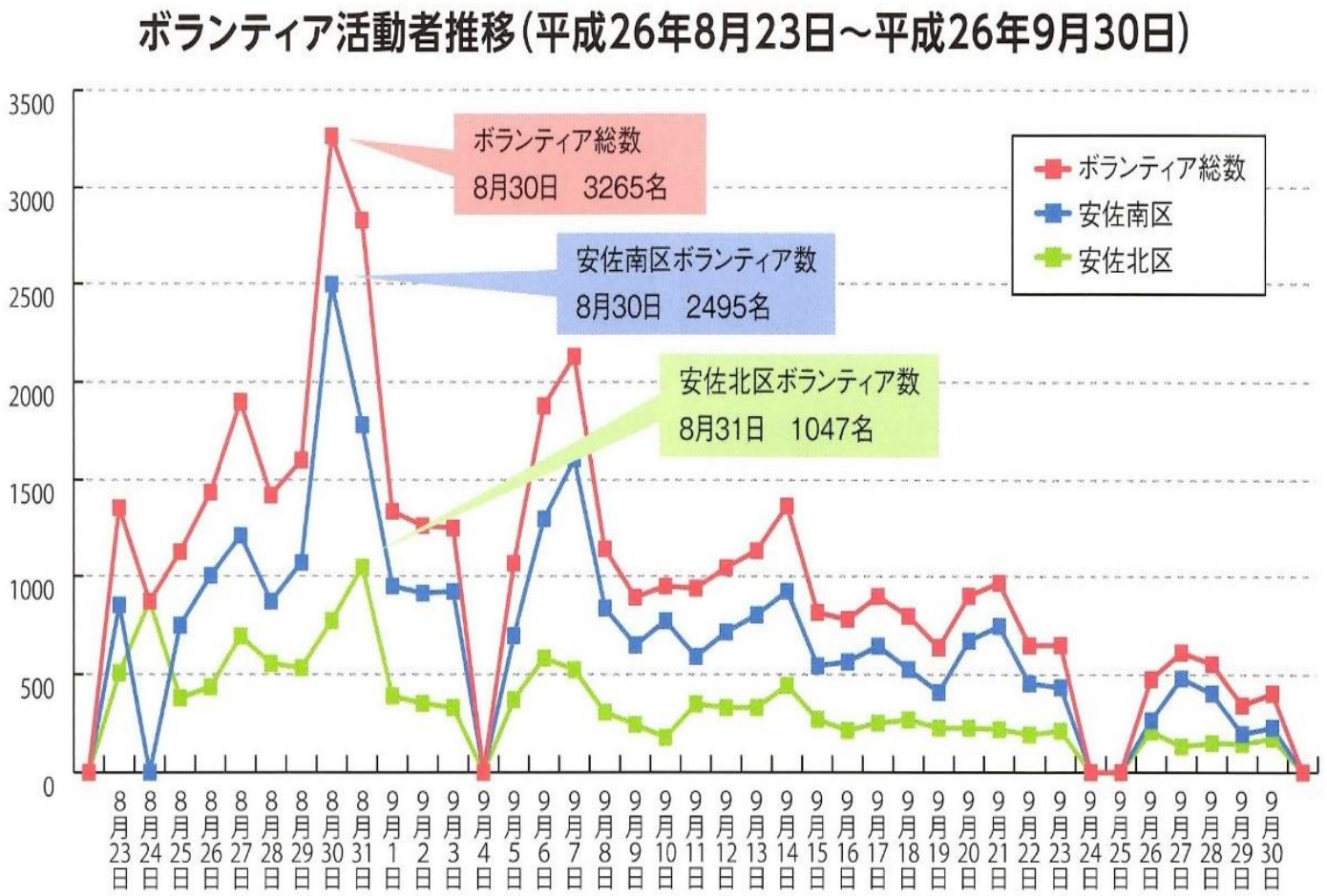

火成岩類
流紋岩
花崗岩
石灰岩
片岩
砂岩
安山岩
玄武岩
堆積岩類
©5k Team
地質図表示システム
地質図Navi
シームレス地質図V2
画像 ©2021 NASA, TerraMetrics | 利用規約 | 地図の誤りを報告する
Google
背景地図

災害ボランティアセンターの体制





活動者推移 (センター把握数)



早朝からありがとうございました

災害ボランティアセンター運営支援者派遣者数(H26年8月21日～10月31日)

延べ　2,513人　　(地域支援者、地元ボラ含まず)

〈県内外社協職員　延べ852人〉

広島県内	県社協	市町社協	合計(人)
	192	290	482

中国ブロック	岡山県	鳥取県	島根県	山口県	岡山市	合計（人）
	57	104	44	54	19	278

全国ブロック	四国	九州	合計(人)
	40	52	92

〈広島市・区社協職員　延べ588人〉

広島市内	市社協	各区社協	合計(人)
	219	369	588

〈災害ボランティア活動支援プロジェクト会議　延べ234人〉

〈災害ボランティア活動連絡調整会議　15団体　延べ839人〉

本　部	安佐南区	安佐北区	合計(人)
89	587	163	839

©5k Team

地域支援者のチカラ

物品 その他
ニーズ
ボランティア

ボランティア

位置関係図

生活避難場所

八木.St

生活避難場所

代替避難場所

土砂仮置場
(河川敷)

生活避難場所

緑井.St

広島市安佐南区
社会福祉協議会

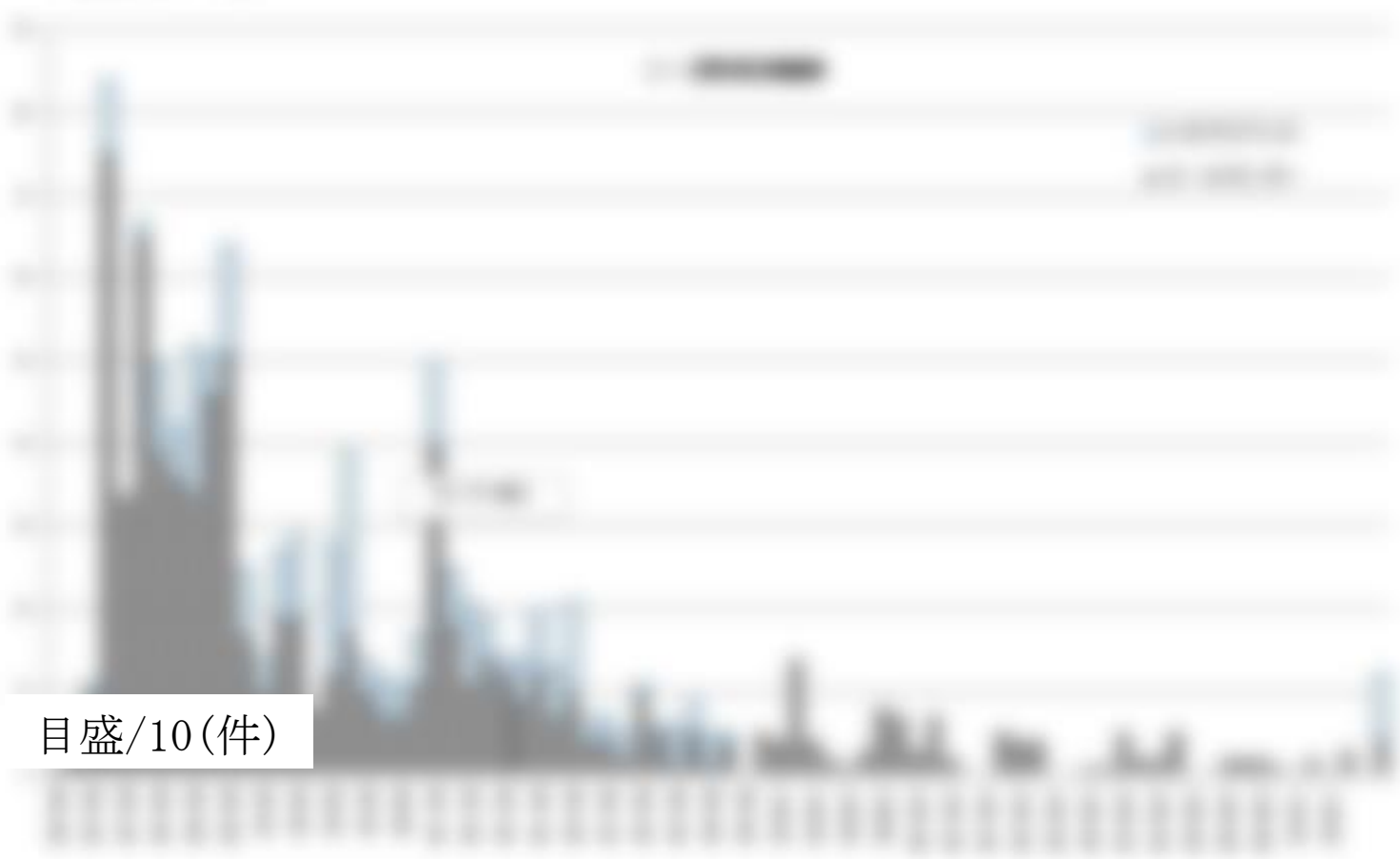
経大興動館.St

安佐南区総合福祉センター

©5k Team

ボランティア活動の概要

支援要請(ニーズ)受付件数推移



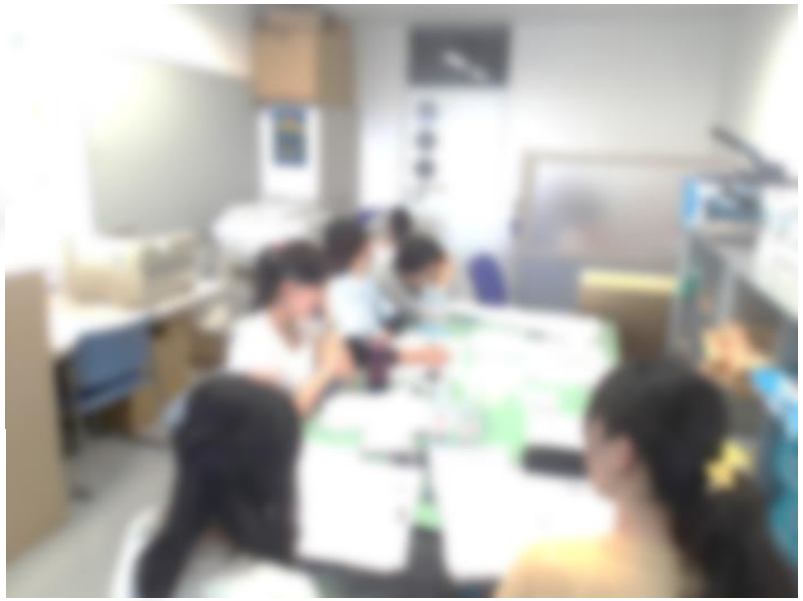
目盛/10(件)

電話応答の内容と入電推移

専用電話入電はボランティアからの問い合わせが圧倒的に占めており、定性的な情報はホームページやSNSで大幅に削減可能であった

凡例
□苦情、マスコミ、その他
■ボランティアからの問い合わせ
■被災者からの依頼関係

目盛/20(件)



依頼/派遣/進捗　バックヤードの様子

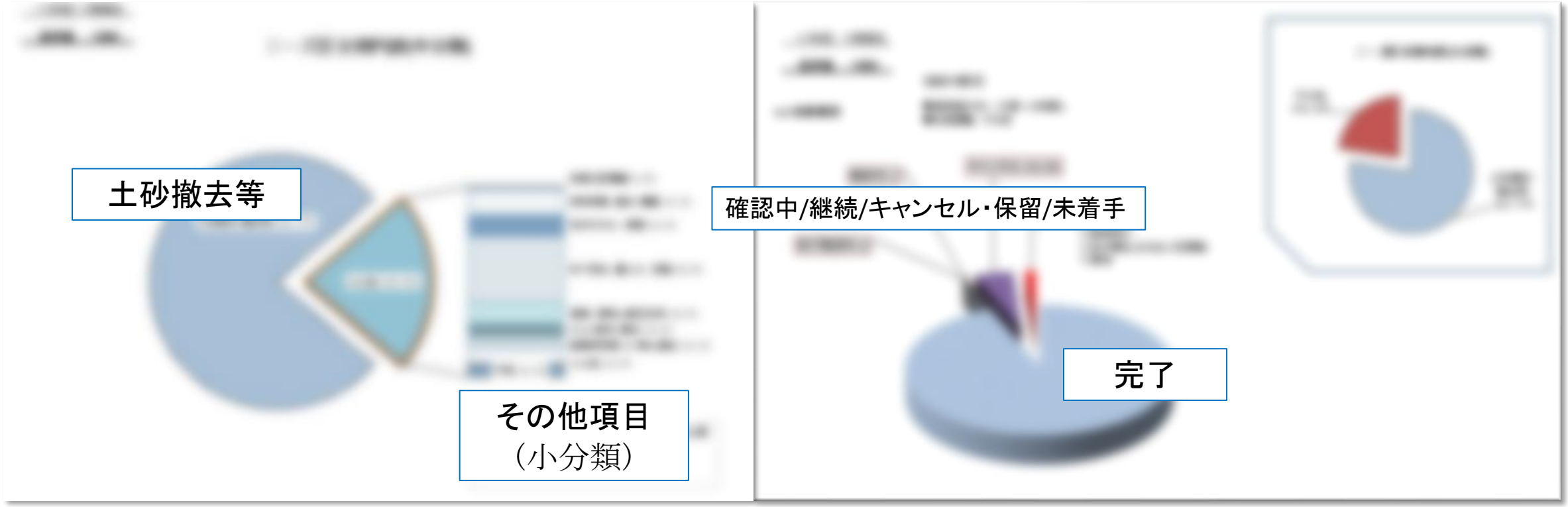
©5k Team

活動進捗管理図(電子データ)

依頼事項の分類　進捗状況

依頼内容の分類（中分類）　　**依頼事項の進捗管理**

（センター受付；1，060件/11月末段階）



安全、衛生、救護、データー管理

©5k Team

区復興連携センターの取り組み

●個別支援

・個別訪問活動、チラシ配布
・生活上の困りごと相談受付
・ボランティア要望聞き取り
・避難者の支援

●地域支援

・サロン活動支援
・イベント調整・支援
・防災教室の開催
・見守り・訪問活動

●関係機関等との連携

・関係機関・団体との情報交換
・ボランティア団体紹介
・専門職（弁護士、司法書士など）との連携

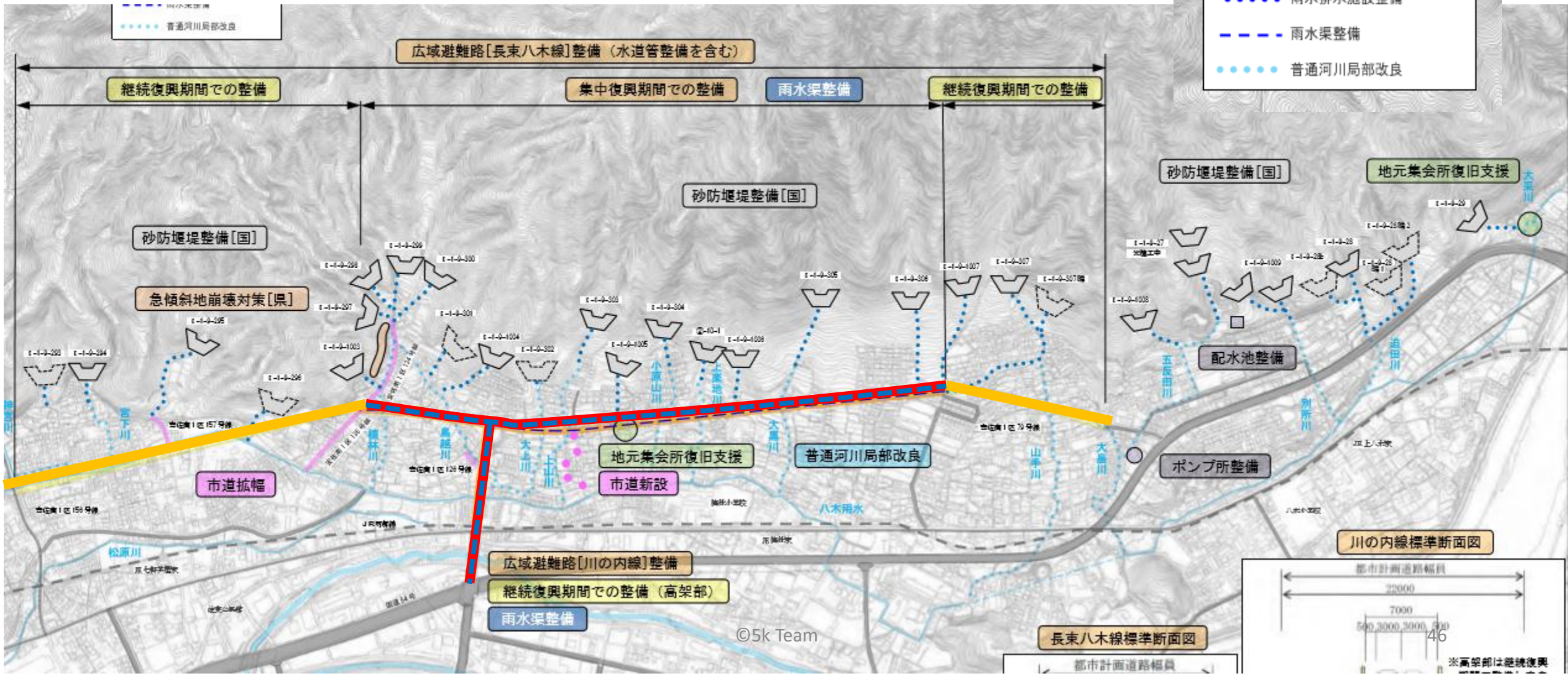
●情報発信

・広報誌作成、配布
・フェイスブックでの活動報告
・災害関連の情報提供

©5k Team

復興まちづくりのイメージ

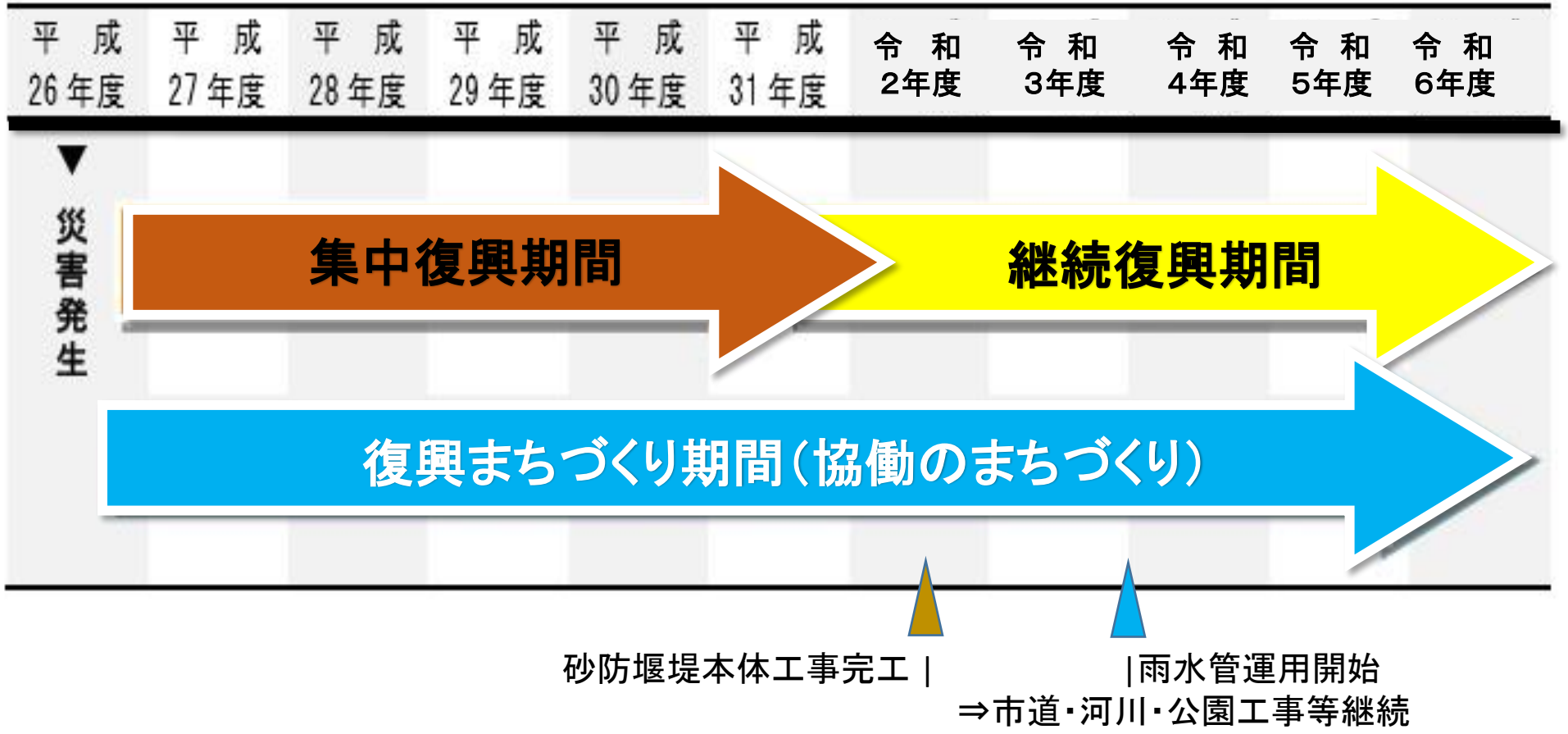
復興まちづくり概要図 (八木～緑井地区)



©5k Team

復興まちづくり期間

図 2-2　復興まちづくりビジョンの対象期間



砂防堰堤の進捗状況

令和2年8月をもって両区30渓流・40基の堰堤本体完工

306-八木梅林沢堰堤工事　平成28年7月
ボランティア連絡会の現地研修会にて

©5k Team

雨水排水管路の進捗状況

予定より2年遅れ令和4年3月から共用開始

砂防堰堤についで懸案の排水路工事は地盤が想定より硬く、２年遅れの４年を経て22年３月末完成。排水は避難路として整備された市道下に３kmにわたり雨水管を敷設、内１kmは豪雨災害時の雨量なら貯留できる容量があり、流量調整して古川に放流する設計。事業費は約１１５億円。（報道等より）

©5k Team

忘れまーで！
8.20